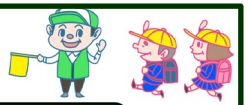
# 持続可能な地域コミュニティの実現に向けて

（令和3年7月　福岡市共創のまちづくり推進検討委員会報告書より）

資料1

## 現　状



### 地域コミュニティが果たしている役割

**地域コミュニティが果たす役割への期待**

- 少子高齢化の進展・大規模災害の影響などから、共助の重要性が再認識され、支え合いの基礎となる地域コミュニティが果たす役割への期待は増大

**人と人のつながり**

- 地域コミュニティの一員として顔の見える関係を築き、様々な人とつながり、認め合い、支え合うことで、暮らしの安全や豊かさを獲得

### 地域コミュニティの抱える課題

**関心の低下・つながりの希薄化**

- 社会経済情勢の変化や市民の価値観の多様化の中で、地域への関心の低下・住民同士のつながりの希薄化

**参加者の固定化**

- 地域活動の大切さについての理解を示しつつも、必ずしも参加に結びついておらず、地域活動の参加者が固定化

**運営の透明性**

- 一部の団体における運営の透明性の問題や、情報の周知不足により、地域活動への理解や参加に支障

**役員の高齢化・固定化**

- 活動に係る負担感の大きさに起因する新たな担い手の確保の困難性と、役員の高齢化・固定化

**制度上の位置づけ**

- 自治会・町内会の制度上の明確な位置づけがないことに起因する、加入呼びかけの難しさ

## 持続可能な地域コミュニティづくりに向けた基本的な考え方

### 1．地域コミュニティの価値（大切さ）

地域コミュニティの**固有の価値**
①命を守る
②暮らしを豊かにする
③地域を創る

**持続可能な地域コミュニティ**とは
この**固有の価値**が守られ、
継承されていくこと

### 2．価値の継承のために必要な視点

①住民理解（運営や活動に関する住民の理解・協力）
②スリム化（無理のない運営や活動への転換）
③開かれた活動（情報公開・情報発信や参加しやすい環境）
④緩く・楽しく・みんなで（緩いつながり、楽しい活動、多様な担い手）
⑤多様性の許容（様々な価値観や生活様式を認め合う環境）
⑥共創（多様な主体と連携した取組み）

### 3．価値の継承のために必要な取組み

#### 1．地域コミュニティの価値の共有

①地域コミュニティの価値や役割を理解してもらうための情報発信
②価値の共有のための場づくり
③地域コミュニティの果たす役割を条例などにより位置づけ

#### 2．自治協議会や自治会・町内会に対する支援

(1)　地域活動への参加促進
①住民理解促進のために地域が行う広報活動の支援
②多くの住民が参加しやすい環境づくり
③住民に開かれた運営や活動の推進
④緩やかなつながりを生むきっかけづくり
⑤公民館による支援や連携の推進

(2)　担い手の負担軽減
①スリム化による負担軽減
②自治協議会の運営基盤の強化



#### 3．市の意識改革

①地域コミュニティとのパートナーシップの強化
②依頼事項の整理・削減

# 主な地域コミュニティ施策

資料2

## 1 地域コミュニティの価値の共有

### (1)取組み・進捗状況(R4年度～)

#### ①地域コミュニティの価値や役割を理解してもらうための情報発信

**◇地域コミュニティサイト「ふくコミ」の運営【R5.1～】**

転入者等が気軽に地域の情報を知れるように、自治会・町内会検索や加入取次申込みなどができるWEBサイトを運営




| | R5.4月 | R6.4月 | R7.4月 | R8.4月 |
|---|---|---|---|---|
| 「ふくコミ」アクセス数 | 2,718回 | 9,543回 | 10,103回 | 16,356回 |

**◇自治会・町内会の案内チラシ配布【R4全面改訂】**

・「ふくコミ」にリンクする二次元バーコードや転入者向けの地域活動に関するQ＆Aを掲載
・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語版も作成【R5】
・町内会別チラシの作成支援【R6】

**◇市政だよりへの記事掲載**

市政だより「区版」を中心に地域活動や取組みを紹介する記事を掲載。

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 各区版で通年での記事掲載(7区計) | 56回 | 59回 | 64回 | 52回 |

#### ② 価値の共有のための場づくり

**◇小学校教育との連携【R4～】**

子どもの頃から地域活動を身近に感じることができるように、小学2年生の街散策の授業で活用できるリーフレット「わくわくまちたんけんマップ」を作成し、市内の全小学校へ配付

#### ③ 地域コミュニティの果たす役割を条例などにより位置づけ

**◇「福岡市共創による地域コミュニティ活性化条例」【R4.4.1施行】**

・自治協議会や自治会・町内会の位置づけを明確化
・地域コミュニティ固有の価値の共有・継承などを基本理念とする条例を市政だより等にて随時周知

### (2)振り返り

地域コミュニティの価値の共有に向け、WEBサイトや多言語に対応したチラシなど、情報発信媒体の充実を図るとともに、学校教育との連携や条例の周知などに取り組み、多様な市民への働きかけを行った。地域コミュニティの意義を広く伝え、地域活動に関わるきっかけづくりや参加しやすい環境づくりに一定の寄与をしたものと考える。

一方で、市民の価値観や生活様式の多様化等により、地域コミュニティの重要性が十分に伝わりにくい状況がある。

### (3)今後の方向性

地域コミュニティの重要性が市民に十分伝わるよう、自治協議会や自治会・町内会の具体的な取組みの紹介や、特に若い世代への効果的な情報発信について、様々な媒体を活用しながら、より一層取り組んでいく。

# 2 自治協議会や自治会・町内会に対する支援

## (1)取組み・進捗状況(R4年度～)

### 地域活動への参加促進

#### ① 住民理解促進のために地域が行う広報活動の支援

**◇地域広報アドバイザーの配置【R4～】**

専任の会計年度任用職員を各区1名ずつ配置し、SNSなどを活用した地域の広報活動を支援

| SNS・HP等稼働中団体数 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 自治協議会 | 65校区 | 86校区 | 93校区 | 93校区 |
| 自治会・町内会 | 13団体 | 41団体 | 63団体 | 84団体 |

#### ② 多くの住民が参加しやすい環境づくり

**◇自治協議会共創補助金**

自治協議会が主体的に行う共創のまちづくり活動を支援
・基本10事業を「必須」から「推奨」へ緩和【R4】
・運営費割合の引上げ(1/3以内⇒1/2以内)により、補助金の使途を柔軟化【R4】
・区役所実施の地域対象事業(地域参画予算)を統合し、一律10万円を増額【R6】

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 交付件数 | 150件 | 152件 | 152件 | 152件 |

**◇町内会活動支援事業補助金【R4～】**

「地域デビュー応援事業補助金」を拡充し、自治会・町内会が主体的に行う地域の活性化や課題解決のための活動を支援(補助率1/2・上限5万円又は補助率4/5・上限10万円)

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 交付件数 | 178件 | 409件 | 519件 | 612件 |

**◇地域のデジタル化支援**

**・地域のデジタル発信応援BOOKの配布【R6】**

地域がデジタル発信を検討する際の参考資料となるよう、デジタル化のメリットや各種デジタルツールの概要・導入事例を紹介する手引きの冊子を作成し、配布




**・自治会・町内会向けLINE公式アカウント等活用講座【R7】**

希望する自治会・町内会に対し、LINEを活用した情報発信(電子回覧板機能)に関する個別支援(講座等)を実施

| | R7年度 |
|---|---|
| 実施回数 | 29回 |
| 受講団体数 | 70団体 |

**◇市民公益活動への参加促進**

学生や社会人などが気軽に参加できるきっかけとして、「NPO・ボランティア体験事業」を実施

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| プログラム数 | 47 | 37 | 50 | 55 |
| 体験人数 | 396人 | 309人 | 412人 | 632人 |

#### ③ 住民に開かれた運営や活動の推進

**◇自治協議会、自治会・町内会向けの各種研修会の開催**

各区において、自治協議会役員や新任自治会長・町内会長などが対象の各種研修会を開催

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 自治協議会向け開催数(7区計) | 26回 | 25回 | 30回 | 22回 |
| 自治会・町内会長向け開催数(7区計) | 14回 | 13回 | 33回 | 85回 |

#### ④ 緩やかなつながりを生むきっかけづくり

**◇事業者の参加促進の取組み**

**・ふくおか共創パートナー企業の普及や貢献度の高い事業者への感謝状贈呈【R4～】**

地域活動に取り組む意欲のある事業者をふくおか共創パートナー企業として登録し、その取組内容を市HPで紹介。地域活動に貢献する活動を行っている事業者へ感謝状を贈呈

**・地域活動貢献企業の認定【R5～】**

過去1年以内における地域活動への貢献実績などを要件に、市との契約上の優遇措置を適用できる地域活動貢献企業として認定

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 共創パートナー企業登録数 | 115社 | 260社 | 320社 | 365社 |
| 貢献企業認定数 | – | 119社 | 142社 | 165社 |
| 感謝状贈呈数 | 7社 | 15社 | 11社 | 19社 |

**◇地域活動PRショート動画コンテストの開催【R7】**

地域活動をPRする動画を、学生を対象に募集し、学生が地域活動に目を向けるきっかけにするとともに、受賞動画を市SNS等で発信することにより、幅広い層へ地域活動の周知広報を実施

**◇地域とNPOをつなぐ取組み**

NPOと地域がつながるきっかけとして、NPOを講師とした「出前講座」を実施

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 出前講座 実施件数・参加者数 | – | 2件、33人 | 9件、249人 | 10件、615人 |

**◇ “共創”自治協議会サミットの開催**

校区による特色のある活動事例を共有し、絆づくりを図る

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 開催日・参加人数 | 10/17、約600人 | 12/5、約600人 | 11/29、約500人 | 12/3、約400人 |
| 活動事例発表団体 | 7団体 | 4団体 | 4団体 | 3団体 |

#### ⑤ 公民館による支援や連携の推進

**◇公民館主催事業(地域の担い手パワーアップ事業)**

地域コミュニティの拠点である公民館について、公民館職員の資質向上を図る研修を実施するとともに、各公民館が地域の実情に応じた担い手育成のための取組みを展開

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 実施館数 | 103館 | 103館 | 114館 | 112館 |
| ①ICT担い手づくりプログラム | 63館 | 68館 | 72館 | 64館 |
| | 4,121人 | 4,256人 | 5,009人 | 4,395人 |
| ②地域の担い手づくりプログラム | 72館 | 75館 | 88館 | 75館 |
| | 17,457人 | 13,239人 | 19,697人 | 16,345人 |
| ③学生がデザインする公民館プログラム | 11館 | 10館 | 11館 | 11館 |
| | 567人 | 820人 | 1,951人 | 831人 |

**◇地域のデジタル化支援事業(公民館スマホ塾等)**

地域のデジタル化支援のため、公民館スマホ塾などの学習機会を提供

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| 公民館スマホ塾開催数 | 57館、2,518人 | 67館、2,853人 | 69館、4,485人 | 63館、3,997人 |

### 担い手の負担軽減

#### ① スリム化による負担軽減

**◇自治協議会共創補助金の運用柔軟化**

基本10事業の「必須」から「推奨」への緩和による、団体統合や無理のない事業への見直し促進

#### ② 自治協議会の運営基盤の強化

**◇共創による地域づくりアドバイザーの派遣**

地域活動のアドバイスを行う専門家を地域の要望に応じて派遣し地域の活性化等を支援

| | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|---|
| アドバイザー派遣回数・延べ参加人数 | 28回、1,589人 | 47回、3,611人 | 51回、3,622人 | 56回、5,479人 |

資料2

## 2 自治協議会や自治会・町内会に対する支援

### (2)振り返り

地域活動を支援する補助金制度の柔軟化や拡充を行ったことで、地域の活性化や課題解決につながる事業などへの活用が進んでいる。また、地域の広報活動や、そのデジタル化を支援した結果、SNS・HPの新規開設に加えて、LINEを活用した電子回覧板の導入の動きがみられるなど、地域の情報発信力の向上に一定の進展があった。これらの取組みにより、地域が主体的に行う活動の充実、特に情報発信力の向上に一定の進展が見られたと考える。

さらに、企業やNPO、学生などの様々な主体の参加促進に取り組み、新たな担い手の確保に向けた機運の醸成を図った。また、地域コミュニティの拠点である公民館について、「住民が立ち寄りたくなる公民館づくり」に取り組んでいる。

一方で、参加者の固定化や役員の高齢化・固定化は、引き続き重要な課題であり、幅広い世代の参加促進や、新たな担い手の確保に向けて、引き続き取り組んでいく必要がある。企業やNPOなど様々な主体の参加を、より具体的な地域貢献や継続的な活動につなげていくため、今後も取組みの充実や改善を図る必要がある。

### (3)今後の方向性

#### 地域活動への参加促進

地域の実情を踏まえながら、引き続き、地域活動を支援する各種補助制度、各種研修、事業者の参加促進、NPOとの共働などといった、担い手づくりや活動への参加促進に向けた支援の充実を図っていく。

特に、幅広い世代が気軽に地域の情報を受け取ることができ、地域活動への参加につながるよう、デジタルツールを活用した情報発信の支援に力を入れていく。

#### 担い手の負担軽減

持続可能な活動に向け、地域が無理のない組織運営や事業活動への見直しができるよう、引き続き、地域特性に応じた好事例の共有などを進めるとともに、担い手の負担を軽減してくためのデジタルツールの活用支援など、新たな手法による支援にも取り組んでいく。

資料2

# 3 市の意識改革

## (1)取組み・進捗状況(R4年度～)

### ① 地域コミュニティとのパートナーシップの強化

**◇各区地域支援課職員の増員【R4】** ※概ね4校区に1人
地域の実情に応じたきめ細かな支援体制を整備
(地域支援係長＋9人、地域広報アドバイザー＋7人、会計年度任用職員＋3人)

| 【参考】 | 東区 | 博多区 | 中央区 | 南区 | 城南区 | 早良区 | 西区 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域支援係長(R8年度) | 8人 | 6人 | 4人 | 7人 | 3人 | 7人 | 8人 | 43人 |

**◇職員の意識改革**
幹部職員による推進本部会議や全職員対象eラーニング研修、新規採用職員研修などを通じ、共創のパートナーとしての意識改革を図る。R7のeラーニング研修では、地域の負担軽減に向けて協力依頼を見直していくことなどをテーマに実施。

### ② 市から地域への依頼の見直し

・自治協議会等への協力依頼について、規則及びガイドラインを策定【R4】
・依頼事項一覧表の地域への提示【R5～】
・地域への依頼について、毎年テーマを設定し、全庁的に見直し【R5～】

(見直しテーマ)
R5:7区会長会への依頼
R6:自治協議会、自治会・町内会への依頼
R7:謝礼等の支給がない依頼
　　複数回開催の会議への出席依頼

(見直し内容)
・推薦依頼や出席依頼の取りやめ
・会議の開催回数の削減
・書面開催への変更
・謝礼等の支払い開始

| | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|---|---|---|---|
| 依頼の取りやめ件数 | 6件 | 4件 | 7件 |
| 会議開催方法の見直し等 | 12件 | 17件 | 24件 |

## (2)振り返り

地域コミュニティとのパートナーシップ強化に向け、各区地域支援課職員によるきめ細かな支援を行うとともに、全庁的には全職員を対象としたコミュニティに関する研修や地域への協力依頼の見直しを行った。これらにより、地域の実情に応じた支援の充実や、職員の意識醸成、地域の負担の軽減に向けた基盤づくりが進んだと考える。一方で、地域からは依然として、行政からの依頼事項に対する負担感があるとの声が聞かれることから、地域の意見を十分に踏まえながら、さらなる支援の充実や負担軽減に向けた取組みを進める必要がある。

## (3)今後の方向性

各区地域支援課職員を中心に、地域コミュニティの支援策や参考となる取り組み事例の情報提供、運営や活動についての助言などの支援を、地域の実情に応じてきめ細かく行うとともに、全庁的には、地域活動に対する職員の意識改革に向けた研修や地域への協力依頼の見直しを継続することで、地域の負担軽減に向けた取組みを進めていく。

# R8年度の主な取組み

資料2

## ◇デジタルツール活用支援

① 電子回覧板の活用支援として、
・R7年度の電子回覧板活用講座で使用した「マニュアル」や、自治会・町内会の「導入事例集」などを市ホームページに公開し、活用を促進（R8.4月）



**マニュアル**




「電子回覧板とは」「LINE公式アカウントを使った電子回覧板開設方法」などを掲載したマニュアル

**導入事例の紹介**



令和７年度に講座を受講し、電子回覧板を開始した自治会・町内会の情報をご紹介

**登録ご案内チラシ**



電子回覧板開設後、住民の皆さまへ登録案内を行う時に活用できるチラシ

**住民向け操作マニュアル**




“登録方法がわからない”といった住民へのサポートに活用できるガイドブック

・電子回覧板の導入メリットや活用事例、具体的な操作方法などを紹介する「電子回覧板活用動画」を新たに制作し、市ホームページに公開予定（R8秋頃）

② 「地域運営に役立つデジタル活用講座」を開催し、電子回覧板やキャッシュレス決済による会費徴収などについて紹介（R8.9月）



デジタル化で何ができるかを詳しく解説



簡単に使えるツールや地域での活用例をご紹介

・電子回覧板　・キャッシュレス決済による会費徴収
・オンライン会議　・クラウドを活用した資料のデータ保存　などを紹介予定

## ◇公民館のDX推進

公民館の利便性向上と運営業務効率化を図るため、スマートロック※の試行を実施（R8.7月から5館で実施中）
※スマートロック …物理鍵を使わず、暗証番号やスマホ等で開閉できる電子錠



## ◇市から地域への依頼の見直し

地域への依頼について、引き続き、全庁的に見直し
（見直しテーマ）
・謝礼等の支給がない依頼
・複数回開催の会議への出席依頼

# 令和8年度の各区の主な取組み

資料3

全市で統一した取組みのほか、
各区では、区の特性や実情に応じて、区独自に地域コミュニティを支援する取組みを実施しています。
ここでは、令和8年度の主な取組みを紹介します。　★は新規事業

## 南区

**○町内会活動支援事業**／校区の定例会等で他自治会の取組み等を紹介するなど活用を促進
【町内会活動支援事業補助金　交付件数】R5n…81件、R6n…102件、R7n…118件

**○新任自治会・町内会長研修**／組織運営と活動の基礎、市の支援施策等についての説明と意見交換
【参加者数】R5n…28名、R6n…53名、R7n…31名

**○自治協議会会計担当者研修**／共創補助金など会計知識の説明と意見交換
【参加者数】R5n…35名、R6n…27名、R7n…20名

**○地域活動に役立つ資料の提供**／「南区 地域活動のための参考資料」として、ホームページに資料を集約して紹介

**★「町内会カルテ」の作成**／地域の実態把握のため作成し、状況に応じて助言を行う

## 東区

**○町内会活動支援事業**
補助金未利用町内会に補助金を活用した町内会行事の情報を提供し、活動を支援
【町内会活動支援事業補助金　交付件数】R5n…137件、R6n…150件、R7n…178件

**○研修の充実強化等**
地域課題解消に向けた研修、講演会の開催、ワークショップ等による情報交換、新任会長へのヒアリングなどを実施

**○地域活動に関する発信強化**
「ふくコミ」の情報発信強化（校区特集、地域活動内容の掲載）
【校区特集掲載数】R5n…4校区、R6n…9校区、R7n…7校区

## 城南区

**○地域コミュニケーション支援事業「城南区コミュニティ×コミュニケーションひろば」**
地域活動に関心のある人を募り、ワークショップを通して新たな交流の場を創出し、地域イベントを実践。また、地域の活動をわかりやすく紹介した「ジチの図鑑（冊子）」を作成
【イベント実践数】R7n･･･5事業　【ジチの図鑑配布数】R8n･･･約2,000冊（6月末時点）

**○「城南市民カレッジ人権講座・歴史講座・生涯学習講座」事業**
福岡大学、中村大学と連携して共同企画事業を実施し、まちづくりや地域活性化に繋げる
【講座実施回数】R5n…19件、R6n…24回、R7n…17回

## 博多区

**★自治会・町内会インスタグラム活用講座**
地域活動の内容や魅力を分かりやすく発信し、若年層を含む幅広い世代への情報伝達及び地域活動への関心・参加促進を図るためのインスタグラム講座を実施
（10団体100名程度）

**★専門学校による地域コミュニティ活性化事業**
令和7年度作成の「博多区専門学校との共創ハンドブック」を活用し、専門学校とのマッチングから事業実施までの伴走型支援・調整を実施（モデルとなる取組みの創出：5校区）

## 早良区

**○地域コミュニティの活性化支援**
・幅広い世代に地域の情報が届くよう、SNSに関する実践者向けの研修を実施
・役員の負担軽減に向け、コミュニティの運営に必要な知識を学ぶ実務研修の充実や各種マニュアルの整備



**★若い世代の地域デビュー促進**
子ども育成団体と連携し、親子で参加しやすい新たな事業を企画・実施し、若い世代の「地域デビュー」を後押し

## 中央区

**○町内会活動支援事業**
地域の活性化に向けて、自治会・町内会が主体的に取り組む幅広い活動を支援
【町内会活動支援事業補助金　交付件数】R5n…21件、R6n…29件、R7n…40件

**★デジタルツールを活用した広報講座**
基礎編（デジタルツールの紹介）、応用編（生成AIを活用した広報）等とステップアップ構成で、基礎編は複数会場で開催し、参加しやすく実施

**★自治会・町内会への加入促進オリジナルちらしの作成**
防犯灯や防犯カメラの設置場所を掲載し、自治会・町内会の役割や活動をわかりやすく作成

## 西区

**○デジタル広報講座の実施**
電子回覧板やホームページ等のデジタルツールの活用を支援



デジタル広報講座

**★企業・大学生とのマッチングによる担い手確保**
自治会・町内会と企業・大学生をマッチングし、地域活動の担い手（ボランティア）確保を支援



学生ボランティアの様子

**★自治会・町内会への加入促進チラシの作成**
自治会・町内会ごとに編集可能な加入促進チラシのひな型を作成